

一九一八年二月十六日大篝火祝賀會政廳前合衆國官廳舍敷地に於て開催さるべく獨逸前皇帝、同皇太子、提督ヒンデンブルグ等の偶像は公衆裁判に附せられたる後火中に投ぜらる可し。

(元) 布哇邦字新聞紙上に於ける七團體戦時後援資金募集廣告。

一九一八年二月一日より一週間募集運動盛なりしが當時の廣告を左に示さば、聯合七團體の運動を後援するは我々の義務なり、我々は正義の爲め我等の爲め勇戦奮闘しつゝある軍隊を後援したる如く、戦線に於て活動しつゝある兵士の精神的要求に應ず可く組織せられたる聯合七團體の事業を後援せざる可らず。

聯合七團體が出征兵士を慰藉激勵し、清新なる遊戯其の他陣中の苦を忘れしむべき機會を與へつゝあるは、我々内に在る者の異郷の勇士に對する最良最大なるクリスマス贈物たるなり。

我々は誠意と錢入とを廣く開き奮つて聯合七團體の運動に對し出來得る限りの後援を與へざる可らず。

大統領ウイルソン氏公認七團體左の如し、

基督教青年會、基督教婦人會、カソリック戦時協會、米國圖書協會、戦時軍營奉仕會、猶太人救護會、救世軍。

(三) 七團體資金募集初日寄附三萬八千弗。

同團募集運動は着々進捗しつゝあるが其第一日に於ける寄附高は總額三八、三六五・九四弗に達し布哇

割當額二一五、〇〇〇弗の六分の一に當れり。

(三) 七團體資金募集運動日本人部の成績。

日本人各委員連日業務を休み熱心に活動中なるが二日目募集高及び前日よりの累計左の如し。

一二日正午迄の分一九一人、合計金二八二・七五弗

累計五〇七人、合計金七四八・六五弗

(三) シュリナー結社樂園大祝祭廣告。

シュリナー結社の樂園大祝祭

一、一九一九年二月二〇日より三日間

一、政廳上手の國民軍武庫内に於て

一、入場料二五仙

餘興

一、大サーカス

一、國際無免許阿片喫煙所(萬歲俱樂部)

一、シュリナー結社の假設裁判所

一、日光茶園

日本人諸君の御來觀を歓迎いたします。

醫師の布哇社會觀

(三) シュライナー結社大祝祭景況。

當市シュライナー結社主催の大祝祭は華々しく開催されたるが、防疫令明け後最初の大催しとて素晴らしき人氣である、正門を入るとビショップ銀行の出張所ありて所要額だけ場内専用の紙幣に兩換して凡ての代價は此の紙幣のみにて支拂ふ事にせり、先づ入場して左側にはメリゴーラウンドありアリゾナ踊りあり随分思ひ切つて際どい處まで踊る、武庫の内に入ると中央の舞臺にて動物行列あり曲藝あり、結社の紳士達は大汗を流して人足代りに働き、トルコ帽を被つた社員や種々なる扮装をしたる婦人達は荐りに風船玉を賣り歩き笑聲歡談相和し華やかなる事限りなし、サーカスは間斷なしに順を追ふて行はれ拍手喝采溢る、如く音楽隊の奏する樂の音に連れて人の心は只譯もなく陽氣に浮き立つ眞に之れを極樂世界と云ふなる可し、次に地下室に降り行けば茲は亦全然治外法權の別世界にて例の評判なる公開賭博は果して大人氣を呼んで盛んに人々の好奇心を唆り各國人とも夢中になつてゐる、此の室にも數ヶ所に銀行の場内通用紙幣兩換所が設けられ、茲にて金錢を紙幣に引換へ賭博場に入ります、日本人には日本式の賭博場あり支那人には支那式、布哇土人には布哇式と言ふ如く各國人を通じて特有の賭博場を設けあり、日本人賭博所には入口に「ばくちば」と記しあり内部に入れば探偵等を尻目にかけて天下晴れての大賭博を打つてゐたのは儘に一大奇觀であつた、概して外人は面白半分平氣でやつてゐるが日本人は血眼になつて喧嘩腰で張つてゐる者多し。又一方には辯護士の某氏は主催者となりて裁判所の設あり白人の紳士達を片端より引張つて來て勝手に判決を下し罰金を徴收し或は監獄所へ打込む、夫れに對して一人として腹を立てる者もなければ氣を悪くする者もなし、斯かる處は白人は儘に大悟徹底し居ると云ふ可し。場内の人々は現金を紙幣に替へては眞に湯水の如く使ひ居たり、全く人間の心理状態程不思議なるものなし、かくして不知不識の間に金錢を行使するに至るなり。

(二) 布哇邦字新聞に於ける一七團體資金募集廣告。

ホノルル市郡在住者に諭告す。

ホノルル市郡在住者は過去十數ヶ月に亘り其の人種の如何を問はず共同一致世界の平和人道の爲め精神的物質的大なる努力と犠牲を惜まざりしも尙ほホノルル一般在住者の大なる援助を要する目前焦眉の急務存せり。現に當地に於ける幾多の住民は、貧困、病氣、災害或は種々なる不幸に逢遇し世の同情と助力を要求し居れり。

今回當市に組織せられたる一七團體は人道正義の爲め又愛國者としての立場より公共慈善の運動を開始す可く資金二七五、〇〇〇弗を愛國の精神に富み慈善の心深き一般人士の同情に訴へ募集せんとす余はホノルル市々長として來る

三月二四日より同二九日迄六日間に亘り行はる、一七團體

聯合資金募集運動の成功を祈ると同時に一般ホノルル在住者が當市の幸福増進の爲め奮つて能ふ

限りの援助を與へんことを勧告す。

一九一九年三月一八日

ホノルル市長 ゼヨセフ セーフアーン、

寄附を受く可き一七團體。

日本人病院、共同慈善會、少年俱樂部、無料幼稚園、ゴースペルミッションホーム、救護協會、カリヒ孤兒院、キングスドウターホーム、バラマセツルメント、リアヒホーム、救世軍少年義勇隊、ウエスレーホーム、海員協會、中央基督教青年會、ヌアヌ基督教青年會。

(三) 瘋癲病院攻撃。

瘋癲病院に於ける患者の待遇慘にして、目下收容されつゝある患者三四〇名の容態は益々險惡に向ひつゝありと、院内患者の状態一般に慘憺たるものあるを以て、調査の後相當の處置を望む者の歎願書下院に提出されたり、アンドリュウ、ローリンス氏は右に對し若し事實ならば直ちに相當の處置に出で、此機會に同院内部の一大改革を行ふべしと力言せり。

瘋癲病院の婦女子病院係員のため貞操は恣に蹂躪さる。

カリヒ及びモロカイの癲病院改善必要の事實として、マクフアレーン夫人はモロカイ癲病院に收容されたる婦人の母親より送れる手紙をマツガーセー知事に提出したるが、該手紙に據ればカリヒ及びモロカイ癲病院に於ける係員は妙齡の婦人患者にして未だ病勢餘りに進行せざる者と見れば、之れが貞操を蹂躪し、若し婦人にして斯る行爲に反抗せば、手段を講じて我を折らしめ、病勢進みて遂に身體崩るゝに至る迄、可憐なる婦人の貞操を散々に弄び婦人患者境遇實に恹然たるものありと云ふ。

癲病調査報告

既報の如く市内ウォルター、マクフアレーン夫人は癲病問題に就き幾多の批難を加へたるにより、衛生局及白人商業會議所は各二名の代表者を出し更に布哇電氣會社のマクグラス氏を第五會員に撰定し、この五名の委員は綿密に本問題を調査したる上報告を作製し昨日之を公表せるが其重要なる諸點は左の如し。

- 一、カリヒ收容所にては前監督の下にては不取締ありたるも新主婦を任命以來其事能著しく改良されたり。
- 二、患者が收容所を離れ公衆と混同するを阻止するに必要を増加すべし。
- 三、患者は自由に其不平を衛生局に提出するの充分の機會を與へられざる可らず。
- 四、カリヒ收容所經營に就き責任を分割するは誤れり宜しく醫術官をして全統轄權を有せしむ可し。
- 五、カラウババ避癲所の患者は非常に満足を表し居れり何等不平なく又何等の不徳なし。
- 六、縣はカラワオの合衆國癲病院を獲得せしむことを企つべし又吾人はカラウババの合衆國管理に反對す。

七、男女兩性の分離は必要なし、若し此事不可能ならば不妊法を使用するを可とす、千九百十一年より千九百十七年までカラウバにて出生せる兒童は百五人に及びり。
八、縣會は癩病患者處理に關する法律中過誤に失せる部分を修正せざる可らず。

布哇に於ける衛生状態畢

大正九年九月八日印刷
大正九年九月十一日發行

内務省衛生局

東京市芝區櫻川町二十番地

印刷人 淺野榮作

東京市芝區櫻川町二十番地

印刷所 株式會社 大高印刷所

